

## <ちょこっとコラム②⑤>

(聖具 その③)

### 「ラバボ・ボウル&ラバボ・タオル」 *Lavavo Bowl & Towel*

聖餐式の中で、チャリスとパテン（皿と杯）の準備を終え、信施（献金）がささげられた後、司式者は指先を洗います。指を洗い流した水を受けるボウルをラバボ・ボウル、濡れた指を拭くための布をラバボ・タオルといいます。サーバーがいる場合は、左手首に、縦に三つ折りにしたタオルをかけ、その手でボウルを持って、右手で水を注ぎます。

「ラバボ」という語は、ラテン語で「わたしは洗う」という意味であり、「主よ、わたしは手を洗って潔白を示し、あなたの祭壇を廻り…」（詩編 26：6）から来ています。この儀式は祈祷書に記載されてはいませんが、多くの教会で行われており、伝統的には、司祭がこの詩編句を唱えながら行われていたそうです。